

知の市場

—講座の概要— (2014年度)

人間は多様な危機に曝されつつ多様な機会に巡り合う中で技術革新、制度改革、人材改新を通して社会変革を成し遂げながら生活をしてきた。しかし日本も世界も未だ多くの課題を抱えている。こうした中において自らを活かしつつ社会と世界において活動を展開していく幅広い基盤を固めるためには、広範な教養を高めていくことが必須である。

社会の幅広い領域において諸々の機関が人々の多様な要請に応じて学習の機会を提供している。また、多彩な背景を持つ人々がそれぞれの立場で役割を担いつつ勉学に励んでいる。こうした力を糾合して新たな総合的かつ実践的な学習の機会を創成するべく「知の市場 (FMW : Free Market of・by・for Wisdom)」を開設した。

第0期 (黎明期 : ~2003年度) を経て第I期 (形成期 : 2004~2008年度) に「化学・生物総合管理の再教育講座」として開講して以来、自発的な活動として全国に展開を拡大した第II期 (展開期 : 2009~2012年度) を終えて、自律的に発展していくための基盤を確立する第III期 (完成期 : 2013~2015年度) の初年度である2013年度まで10年間にわたり、総合的かつ実践的な学習の機会を提供してきた。そして全国から大きな反響を得るとともに、開講機関や連携機関との協力関係を構築しつつ延べ7,196名の講師や延べ21,342名の応募者の人の輪を形成してきた。

この成果を踏まえて、知の市場は自立的で解放的な協力関係を形成しながら人々が自己研鑽と自己実現のために立場を越えて自ら活動する場 (Voluntary Open Network Multiversity) として存在感を示している。そしてプロ人材の育成と高度な教養教育の接合及び社会人教育と学校教育の連結という二つの結合を促進するべく挑戦している。

その中で「共催講座」は、「知の市場」の理念と基本方針に沿いつつ「知の市場」の運営体制を踏まえて、連携機関の協力のもと開講機関の主催により知の市場が共催して開講する。科目 (120分授業15回2単位相当) を一つの単位とし開講し、大学・大学院に準拠した厳しい成績評価を行うことを原則とする。社会と世界の現況に対する理解を深めそして専門分野の幅広い展開の基盤を固めるために広範な領域の科目を開講するが、時代の進展などに配慮しつつ適宜見直し進化する。

「関連講座」は、共催講座での経験を活かした活動、開講機関や連携機関が実施する活動、自己研鑽と自己実現に資する活動などであって知の市場の理念を共有する活動で、個々の主催者が自らの主体性と責任のもとで知の市場の基本方針を念頭に置きつつも取り巻く諸般の状況を踏まえて、講義時間と講義回数、成績評価と受講修了証などについて柔軟かつ弾力的に運営する。大学・大学院での履修科目に相当する120分授業15回の講座を科目、講義回数の少ない講座をユニット、科目を越えた長期間の講座をコースとして分類する。当面、教養編、専門編、研修編、大学・大学院編の4つの領域を設定する。

2014年度は、共催講座として18拠点で337名の講師の参画により42科目を、関連講座として21拠点で291名の講師の参画により45科目を、合計39拠点で628名の講師の参画により87科目を開講する。このうち、2014年度の新規開講科目は合計26科目にのぼる。

【体系と機能】

Free Market of by for Wisdom

Voluntary Open Network Multiversity

知の市場

「互学互教」の精神のもと「現場基点」を念頭に「社会学連携」を旗印として
 実社会に根ざした「知の世界」の構築を目指して
 人々が自己研鑽と自己実現のために自立的に行き交い自立的に集う場

	友の会	連携学会	協力者・協力機関	有志学生実行委員会	知の市場事務局	協議会	評価委員会	
共 催 講 座	東京・お茶の水女子大学	お茶の水女子大学ライフワールド・カレッジセンター増田研究室、知の市場	お茶の水女子大学(東京メトロ茗荷谷駅、豊国寺駅) 前期3科目、後期7科目、計10科目開講					
	東京・放送大学文京学習センター	知の市場、放送大学(協賛)	放送大学文京学習センター(東京メトロ茗荷谷駅) 通年1科目、前期1科目、後期2科目、計4科目開講					
	東京・西早稲田(1)労研	労働科学研究所、早稲田大学規範科学総合研究所	早稲田大学西早稲田キャンパス(東京メトロ早稲田駅) 前期1科目、後期3科目、計4科目開講					
	埼玉・狭山	狭山商工会議所、狭山市	狭山市産業労働センター(西武新狭山狭山市駅前) 前期1科目、後期2科目、計3科目開講					
	大阪・千里山	日本リスクマネジャネットワーク	関西大学千里山キャンパス(阪急千里線千里大前駅) 後期2科目、計2科目開講					
	鳥取・倉吉	動物臨床医学研究所	動物臨床医学研究所又は伯耆しまわの郷(JR倉吉駅) 前期1科目、後期1科目、計2科目開講					
	東京・戸山	国立感染症研究所	国立感染症研究所(東京メトロ早稲田駅、若松河田駅) 前期1科目、後期1科目、計2科目開講					
	東京・丸の内	日本リファイン	日本リファイン(JR・東京メトロ東京駅) 前期2科目、計2科目開講					
	東京・日本橋室町	三井不動産、お茶の水女子大学ライフワールド・カレッジセンター増田研究室	三井別荘(東京メトロ三越前駅、JR新日本橋駅) 前期1科目、後期1科目、計2科目開講					
	京都・京都大学放射線生物研究センター	京都大学放射線生物研究センター、ひと・健康・未来研究財団	京都大学放射線生物研究センター(京阪線津宮丸太町駅) 前期1科目、後期1科目、計2科目開講					
	東京・九段	早稲田リーガルコムズ法律事務所	早稲田リーガルコムズ法律事務所(東京メトロ九段下駅) 前期1科目、後期1科目、計2科目開講					
	東京・大岡山	知の市場	東京工業大学大岡山キャンパス(東急大井町線・目黒線大岡山駅) 前期1科目、計1科目開講					
	大阪・関西大学高槻	製品評価技術基盤機構、関西大学社会安全学部、関西消費連合会	関西大学高槻ミューズキャンパス(IR高槻駅) 前期1科目、計1科目開講					
	東京・西早稲田(2)	製品評価技術基盤機構、早稲田大学規範科学総合研究所	早稲田大学西早稲田キャンパス(東京メトロ早稲田駅前) 後期1科目、計1科目開講					
	東京・四ツ谷(1)主婦連	主婦連合会、製品評価技術基盤機構	主婦会館(JR・東京メトロ四ツ谷駅前) 前期1科目、計1科目開講					
	東京・幡ヶ谷	製品評価技術基盤機構	製品評価技術基盤機構(京王新線幡ヶ谷駅) 後期1科目、計1科目開講					
	東京・四ツ谷(2)生物研	農薬生物資源研究所	主婦会館(JR・東京メトロ四ツ谷駅前) 後期1科目、計1科目開講					
	東京・八重洲	東洋システム	東京駅前カンパレンスセンター(JR・東京メトロ東京駅) 前期1科目、計1科目開講					
	I 教 養 講 座	東京・茗荷谷	化学工学会SCB・Net	お茶の水女子大学(東京メトロ茗荷谷駅、豊国寺駅) 前期1科目、後期3科目、計4科目開講				
		愛知・名古屋市立大学(1)健康	名古屋市立大学健康科学講座オープンカレッジ	名古屋市立大学川道キャンパス(名古屋市地下鉄栄山駅) 3期制、計3ユニット開講				
大分・大分大学		大分大学教育福祉学部・都甲研究室	大分大学(IR大分大学前駅) 後期2ユニット、計2ユニット開講					
東京・筑波大学東京キャンパス		筑波大学大学院	筑波大学東京キャンパス文京校舎(東京メトロ茗荷谷駅) 前期1科目、後期1科目、計2科目開講					
千葉・千葉		千葉市科学館	千葉市科学館(京成線千葉中央駅) 前期1ユニット、後期1ユニット、計2ユニット開講					
鹿児島・鹿児島		知の市場	鹿児島市の経済を考える会・桜ちよらんフェスタ実行委員会(鹿児島市) 前期2ユニット、計2ユニット開講					
鹿児島・枕崎		知の市場	鹿児島水産高等学校・水産加工業協同組合(枕崎市) 前期2ユニット、計2ユニット開講					
東京・早稲田駅		日本獣医師会、早稲田大学規範科学総合研究所、早稲田総研インターナショナル	早稲田総研インターナショナル(東京メトロ早稲田駅) 前期1科目、計1科目開講					
東京・関西大学東京センター		関西大学社会安全学部	関西大学東京センター(IR東京駅、東京メトロ大塚駅) 前期1科目、計1科目開講					
東京・日本中央競馬会		日本中央競馬会	逸草パークホール(つくばエクスプレス池袋駅) 後期1ユニット、計1ユニット開講					
II 専 門 講 座	愛知・名古屋市立大学(2)学びなおし	名古屋市立大学学びなおし支援センター	名古屋市立大学川道キャンパス(名古屋市地下鉄栄山駅) 2期制、各期3科目、計6科目開講					
	東京・明治大学	明治大学リベリアカデミー、明治大学安全学研究所、明治大学大学院理工学研究所新領域創造専攻	明治大学駿河台校舎リベリアタワー(JR御茶ノ水駅) 前期1科目、後期1科目、計2科目開講					
	神奈川・川崎宮前区	労働科学研究所	労働科学研究所(横浜市地下鉄あざみ野駅から徒歩からバス) 後期1科目、計1科目開講					
III 研 修 講 座	埼玉・狭山元氣プラザ	アダムジャパン、狭山商工会議所、狭山市	狭山元氣プラザ、アダムジャパン(西武新狭山狭山市駅から徒歩バス) 後期1科目、計1科目開講					
	福島・いわき	東洋システム	東洋システム(IR湯本駅) 通年1科目、計1科目開講					
IV 大 学 ・ 大 学 院 講 座	東京・早稲田大学先進理工学部	早稲田大学先進理工学部	4科目開講					
	東京・早稲田大学共同先進健康科学専攻	早稲田大学先進理工学研究所共同先進健康科学専攻	2科目開講					
	東京・お茶の水女子大学学部	お茶の水女子大学	3科目開講					
	東京・明治大学理工学研究所	明治大学大学院理工学研究所新領域創造専攻	2科目開講					
	東京・筑波大学大学院	筑波大学大学院	2科目開講					
東京・東京工業大学理工学研究所	東京工業大学大学院理工学研究所化学工学専攻	1科目開講						

知の市場の構造

—講座の位置—

2014年度

社会人教育	動物臨床医学研究所(2科目) 筑波大学大学院(2科目) 千葉市科学館(2科目) 名古屋市立大学学びなおし支援センター(6科目) 明治大学リハビリテーションアカデミー・安全学研究所・明治大学大学院理工学研究科 新領域創造専攻(2科目) 労働科学研究所(1科目)	6 拠点 8 開講機関 8 連携機関 15 科目 受講修了書を授与	お茶の水女子大学LWWC増田研究室・知の市場(10科目) 知の市場・放送大学(協賛)(4科目) 労働科学研究所・早稲田大学規範科学総合研究所(4科目) 狭山商工会議所・狭山市(3科目) 日本リファイン(2科目) 日本リスクマネージャネットワーク(2科目) 感染症研究所(2科目) 三井不動産・お茶の水女子大学LWWC増田研(2科目) 京都大学放射線生物研究センター・ひと・健康・未来研究財団(2科目) 早稲田リーガルコモンズ法律事務所(2科目) 知の市場(1科目) 製品評価技術基盤機構・関西大学社会安全学部・関西消費者連合会(1科目) 製品評価技術基盤機構・早稲田大学規範科学総合研究所(1科目) 主婦連合会・製品評価技術基盤機構(1科目) 製品評価技術基盤機構(1科目) 農業生物資源研究所(1科目) 東洋システム(1科目) 化学工学会SCE・Net(4科目) 名古屋市立大学 健康科学講座オープンカレッジ(3ユニット) 日本獣医師会・早稲田総研インターナショナル(1科目) 関西大学社会安全学部(1科目) 日本中央競馬会(1科目) アダムジャパン・狭山商工会議所・狭山市(1科目) 東洋システム(1科目)	24 拠点 26 開講機関 33 連携機関 52 科目 受講修了書を授与	社会人教育
	合計 15科目	合計 52科目			
学校教育	明治大学大学院理工学研究科新領域創造専攻(2科目) 早稲田大学先進理工学研究科共同先進健康科学専攻(2科目) 筑波大学大学院(2科目)	3 拠点 3 開講機関 3 連携機関 6 科目 学校教育法に基づく単位を授与	知の市場(4ユニット) 早稲田大学先進理工学部(4ユニット) 大分大学教育福祉科学部・都甲研究室(2ユニット) お茶の水女子大学(3科目) 東京工業大学大学院理工学研究科化学工学専攻(1科目)	6 拠点 5 開講機関 6 連携機関 14 科目 学校教育法に基づく単位を授与	学校教育
	合計 6科目	合計 14科目			



プロ人材の育成



高度な教養教育

知の市場

共 催 講 座

第Ⅰ期（形成期：2004～2008年度）は毎年平均して2拠点で346名の講師の参画のもと44科目を開講して1203名の応募者が参加した。第Ⅱ期（展開期：2009～2012年度）は毎年平均して15拠点で392名の講師の参画のもと44科目を開講して1415名の応募者が参加した。第Ⅲ期（完成期：2013～2015年度）の初年度にあたる2013年度は22拠点で413名の講師の参画のもと41科目を開講し、2013年度は1086名の応募者が参加した。

2014年度は18拠点で337名の講師陣の参画により42科目を開講する。このうち10科目が新規科目であり、既存の開講機関が6科目、新規の開講機関が4科目を新規に開講する。

2013年度に引き続きお茶の水女子大学ライフワールド・ウオッチセンター増田研究室が4科目、労働科学研究所と早稲田大学規範科学総合研究所が4科目、狭山商工会議所と狭山市が3科目、日本リファインが2科目、動物臨床医学研究所が2科目、日本リスクマネージャネットワークが2科目、国立感染症研究所が2科目、三井不動産とお茶の水女子大学ライフワールド・ウオッチセンター増田研究室が2科目、京都大学放射線生物研究センターとひと・健康・未来研究財団が2科目、製品評価技術基盤機構と関西大学社会安全学部と関西消費者連合会が1科目、主婦連合会と製品評価技術基盤機構と早稲田大学規範科学総合研究所が1科目、主婦連合会と製品評価技術基盤機構が1科目、製品評価技術基盤機構が1科目、農業生物資源研究所が1科目、東洋システムが1科目を開講する。

また2014年度から既存科目の新規開講機関として知の市場が直轄で3科目、知の市場と放送大学が協賛で2科目、早稲田リーガルコモンズ法律事務所が2科目を開講する。さらに新規科目の新規開講機関として知の市場が直轄で3科目、知の市場と放送大学が協賛で2科目を開講する。

1. 東京・お茶の水女子大学 知の市場

(1) 開講機関

お茶の水女子大学 ライフワールド・ウオッチセンター増田研究室
知の市場

2014年度から新規開講機関として知の市場が直轄で開講する。

詳細は<http://www.chinoichiba.org/lwwchp/>

<http://www.lwwc.ocha.ac.jp/saikyouiku/> を参照する。

(2) 開催場所

お茶の水女子大学(東京メトロ茗荷谷駅、護国寺駅)

(3) 概要

知の市場の創始者として新規の科目や連携機関そして開講機関の培養（インキュベーション）の機能を有しているお茶の水女子大学ライフワールド・ウオッチセンター増田研究室と知の市場は、科学と技術や社会と世界の理解に資する広範な分野の科目を開講する。

2014年度は、次の連携機関と協力して、お茶の水女子大学ライフワールド・ウオッチセンター増田研究室が前期に1科目、後期に3科目の合計4科目を開講する。また、知の市場が直轄で前期に2科目、後期に4科目の合計6科目を開講する。

1) 新規科目として6科目

①化学生物総合管理学会化学物質総合経営学教育研究会

社会の諸々のリスク・マネジメントの実際を検証する科目（前期）

②社会技術革新学会法制教育研究会

実践的考察を通じたリーガルマインドの涵養に関する科目（後期）

- ③化学生物総合管理学会化学物質総合経営学教育研究会
リスク管理に係る国際的枠組みと企業の自主管理活動を検証する科目（後期）
- ④社会技術革新学会社会技術革新学基礎教育研究会
社会変革と技術革新の歴史を検証し付加価値を創造するイノベーションの神髄を探る科目（前期）
- ⑤花井リスク研究所
化学物質のリスクの評価と管理の概念に関する科目（後期）
- ⑥武田労働衛生コンサルタント事務所
職場における労働衛生管理の基本に関する科目（後期）

2) 継続科目として4科目

- ⑦社会技術革新学会金融教育研究会
金融におけるリスクとリターンの正体を探る科目（後期）
- ⑧化学生物総合管理学会化学物質総合経営学基礎教育研究会
化学物質のもたらす健康リスクや環境リスクを付加価値の創造とつなげて論じる科目（前期）
- ⑨化学生物総合管理学会化学物質総合経営学基礎教育研究会
文理融合の視点をもつ規範科学（レギュラトリー・サイエンス）を健康や環境へのリスクの評価と管理を例題に論じる科目（後期）
- ⑩プロメテ国際特許事務所
知的財産権制度の基本と各国の特徴に関する科目（後期）

お茶の水女子大学の学部学生の単位取得対象科目である。単位取得希望者は知の市場に受講登録するとともに大学に履修登録する。

修了者には受講修了証を発行する。受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2004	10	213	152
2005	36	844	510
2006	31	659	360
2007	24	647	305
2008	10	551	290
2009	4	164	91
2010	4	136	81
2011	7(5)	207	89
2012	7(6)	161	53
2013	8	174	80
2014	10		
合計	151	3,756	2,011

(注) ()内は当初予定の科目数。(2014年6月5日現在)

このほか、お茶の水女子大学 ライフワールド・ウオッチセンター増田研究室は、三井不動産と共催で2科目を日本橋室町で開講する。また、知の市場は放送大学と協賛で4科目を放送大学文京学習センターで、1科目を単独で東京都大岡山で開講する。さらに、知の市場は直轄で関連講座として単独で鹿児島県鹿児島市と枕崎市で2ユニットずつの合計4ユニットを開講する。

なお、韓国学1は隔年開講であり2015年度の開講を予定している。

2. 東京・放送大学文京学習センター 知の市場

(1) 開講機関

知の市場

放送大学

2014年度から新規開講機関として知の市場が直轄で開講する。

詳細は

<http://www.chinoichiba.org/lwwchp/>

<http://www.lwvc.ocha.ac.jp/saikyouiku/> を参照する。

(2) 開催場所

放送大学東京文京学習センター（東京メトロ茗荷谷駅）

(3) 概要

学習機関として広く社会人に大学教育の機会を提供する放送大学の協賛を得て知の市場が直轄で、人材育成から健康・環境リスクの管理に関する分野まで幅広い科目を開講する。

2014年度は、次の連携機関と協力して、通年で1科目、前期に1科目、後期に2科目を開講する。

1) 新規科目として2科目

①化学生物総合管理学会化学物質総合経営学教育研究会

食と農薬の安全を科学的に考え信頼の原点をさぐる科目（後期）

②鈴木基之

環境からみる持続可能性を論じる科目（通年）

2) 継続科目として2科目

③④放送大学

楽しく豊かな人生を創造するプロフェッショナルの心得に関する科目

（前期）（後期）

修了者に受講修了証を発行する。受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2013	2	20	14
2014	4		
合計	6	20	14

(2014年6月5日現在)

3. 東京・西早稲田（1）労研 知の市場

(1) 開講機関

労働科学研究所

早稲田大学規範科学総合研究所

詳細は <http://www.isl.or.jp/expert/index.html> を参照する。

(2) 開催場所

早稲田大学西早稲田キャンパス（東京メトロ西早稲田駅前）

(3) 概要

産業安全保健に関する研究及び調査並びに研究者の養成を目的に創立90周年を迎えた労働科学研究所は、早稲田大学規範科学総合研究所と共催で産業安全保健のエキスパート養成などに関する科目を開講する。

2014年度は、次の連携機関と協力して、前期に1科目、後期に3科目の合計4科目を開講する。

1) 継続科目として4科目

①労働科学研究所

- i) 産業保健の基礎として労働科学の歴史と展開を紹介する科目（前期）
- ii) 専門的な知識と技術を有し総合的なリスクアセスメントとそれに基づく対策を自立して構築することができる職場におけるプロ人材（産業安全保健エキスパート）の育成を目指す中級の安全、健康、職場環境の3科目（後期）

「産業安全保健エキスパート認定試験二級」に合格するためには、この4科目を受講することを推奨する。

産業安全保健のプロ育成科目の受講者は、上司の許可を得た業務としての参加を原則とするが、講義に十分参加できる素養を有する場合は個人的な受講も可能である。

修了者に受講修了証を発行する。受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2005	4	80	80
2006	8	156	152
2007	8	200	200
2008	8	196	196
2009	8	196	196
2010	4	63	55
2011	4	34	26
2012	4	56	47
2013	4	57	49
2014	4		
合計	56	1,038	1,001

(注)2008年度以前は継承した科目が他の開講機関で開講した数を含む。(2014年6月5日現在)

このほか、労働科学研究所は、上級の1科目を関連講座として単独で開講する。

4. 埼玉・狭山 知の市場

(1) 開講機関

狭山商工会議所

狭山市

詳細は <http://www.sayama-cci.or.jp/> を参照する。

(2) 開催場所

狭山市産業労働センター（西武新宿線狭山市駅前）

(3) 概要

埼玉県において最大の出荷額を有する狭山市と狭山商工会議所は、その特徴を活かして地域とともに全国に狭山市の特徴を発信するために企業、教育等に関する科目を開講する。

2014年度は、次の連携機関と協力して、前期に1科目、後期に2科目の合計3科目を開講する。

1) 新規科目として1科目

①狭山商工会議所・狭山市・狭山市茶業協会

グローバルブランドを目指す狭山茶の全てを学ぶ科目（後期）

2) 継続科目として2科目

②狭山商工会議所・狭山市

- 狭山工業団地とその周辺企業のものづくりに関する科目（前期）
 ③狭山商工会議所・狭山市
 狭山市の中学生を対象とした経済キャリア教育に関する科目（後期）

修了者には受講修了証を発行する。受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2011	2	38	27
2012	5	88	50
2013	2(3)	43	37
2014	3		
合計	12	169	114

(2014年6月5日現在)

このほか、狭山商工会議所と狭山市はアダムジャパンと共催で1科目を狭山元気プラザ及びアダムジャパンで関連講座として開講する。

5. 東京・丸の内 知の市場

(1) 開講機関

日本リファイン

詳細は<http://www.n-refine.co.jp/>を参照する。

(2) 開催場所

日本リファイン（JR 東京駅）

(3) 概要

製造プロセスで使用された溶剤を回収し精製することにより環境に配慮した循環型産業の構築を目指す日本リファインは、化学物質のリスク管理に関する科目と産業安全を経営に活かす科目を開講する。

2014年度は、次の連携機関と協力して、前期に2科目を開講する。

1) 継続科目として2科目

①化学生物総合管理学会化学物質総合経営学教育研究会

化学物質総合管理を目指す国際協調活動に学ぶ科目（前期）

②社会技術革新学会法制教育研究会

国際比較の視点からみた株式会社の組織と運営の課題に関する科目（前期）

修了者に受講修了証を発行する。受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2012	2(1)	113	38
2013	2	35	19
2014	2(4)		
合計	6	148	57

(注) () 内は当初予定の科目数。 (2014年6月5日現在)

6. 鳥取・倉吉 知の市場

(1) 開講機関

動物臨床医学研究所

鳥取県動物臨床医学研究所が2011年4月1日から動物臨床医学研究所に改称された。

詳細は<http://www.dourinken.com/>を参照する。

(2) 開催場所

動物臨床医学研究所（JR 倉吉駅）

(3) 概要

獣医学に関する臨床的研究はもとより、獣医医療の従事者の教育・養成などの人材育成などに長期間にわたって取り組んできた動物臨床医学研究所は、動物医療に関する科目を開講する。

2014年度は、次の連携機関と協力して、2013年度と同様、前期に1科目、後期に1科目の合計2科目を開講する。

1) 継続科目として2科目

①動物臨床医学研究所

臨床現場に有用な症例検討のあり方に関する2科目（前期）（後期）

動物医療の中でも伴侶動物医療の近年の発展は目を見張るものがあるが、急速な発展の中にひずみが発生しているのも事実である。医療には生き物的要素があり急速な変化に対応不能な面もあるため臨床獣医学のありようを再考しつつ、原点であるひとつひとつの症例を大事に検証して、そのありようを検討するために講義内容を毎年全面的に更新している。

受講対象者は獣医師、獣医系大学学生、動物看護師に限る。

修了者には受講修了証を発行する。受講料は1科目あたり1,000円、学生は500円である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2010	2	146	83
2011	2	135	44
2012	2	135	37
2013	2	156	44
2014	2		
合計	10	572	208

(2014年6月5日現在)

7. 大阪・千里山 知の市場

(1) 開講機関

日本リスクマネージャネットワーク

詳細は<http://www.jrmn.net/>を参照する。

(2) 開催場所

関西大学千里山キャンパス（阪急千里線関大前駅）

(3) 概要

リスクマネジメントの普及や支援に取り組むとともにリスクマネージャとしての資質を磨き、社会の安全、安心の向上に資することを目的に活動する日本リスクマネージャネットワークは、関西大学の協力を得て千里山キャンパスを会場にし、身近な生活・環境害虫の防除や環境問題に関する科目を開講する。

2014年度は、次の連携機関と協力して、2013年度と同様、後期に2科目を開講する。

1) 継続科目として2科目

①日本環境動物昆虫学会

身近な生活・環境害虫の防除に関する科目（後期）

②日本リスクマネージャネットワーク

市民の環境問題入門に関する科目（後期）

修了者に受講修了証を発行する。受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2009	2	43	30
2010	3	39	31
2011	3	27	16
2012	2	34	10
2013	2	41	22
2014	2		
合計	14	184	109

(2014年6月5日現在)

(注1)2009年度の開講実績は、2010年度から日本リスクマネージャネットワークが継承した科目を東京の早稲田大学規範科学総合研究所と東京工業大学社会人教育院が開講機関として開講したものである。

(注2)2010、2011年度は早稲田大学規範科学総合研究所と共催で大阪府環境農林水産総合研究所環境情報プラザ研修室にて開講した。

8. 東京・戸山 知の市場

(1) 開講機関

国立感染症研究所

詳細は <http://www.nih.go.jp/niid/ja/> を参照する。

(2) 開催場所

国立感染症研究所（東京メトロ早稲田駅、若松河田駅）

(3) 概要

我が国唯一の感染症に関する総合的な研究を行う国立感染症研究所は、感染症とその防御に関する科目を開講する。

2014年度は、次の連携機関と協力して、前期に1科目、後期に1科目の合計2科目を開講する。

1) 継続科目として2科目

①国立感染症研究所

現在問題となっている感染症との闘いに関する科目（前期）

ワクチンを中心とした感染症対策に関する科目（後期）

修了者に受講修了証を発行する。受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2012	2	81	21
2013	2	70	32
2014	2		
合計	6	151	53

(2014年6月5日現在)

9. 東京・日本橋室町 知の市場

(1) 開講機関

三井不動産

お茶の水女子大学 ライフワールド・ウオッチセンター増田研究室

詳細は

<http://www.nihonbashi-tokyo.jp/>

<http://www.chinoichiba.org/lwwchp/>

<http://www.lwwc.ocha.ac.jp/saikyouiku/> を参照する。

(2) 開催場所

三井別館（東京メトロ三越前駅、JR 新日本橋駅）

(3) 概要

成熟化・グローバル化する社会・経済において、東京日本橋を拠点に全国に不動産ソリューションを提供している三井不動産は、事業のグローバル化に関する科目と知的財産権に関する科目を開講する。

2014年度は、次の連携機関と協力して、前期に1科目、後期に1科目の合計2科目を開講する。

1) 継続科目として2科目

①社会技術革新学会社会技術革新学教育研究会

多様化する化学産業における基本技術と事業のグローバル化に関する科目（前期）

②化学生物総合管理学会化学物質総合経営学教育研究会

農薬のベネフィットとリスクの総合管理の実際に関する科目（後期）

修了者に受講修了証を発行する。受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2013	2	52	16
2014	2		
合計	4	52	16

(2014年6月5日現在)

10. 京都・京都大学放射線生物研究センター

(1) 開講機関

京都大学放射線生物研究センター

ひと・健康・未来研究財団

詳細は <http://house.rbc.kyoto-u.ac.jp/>

<http://www.jnhf.or.jp/> を参照する。

(2) 開催場所

京都大学放射線生物研究センター（京都駅よりバス「近衛通」下車）

(3) 概要

放射線が生物に及ぼす影響についての基礎的研究を行うと共に、研究交流と協力の推進を目的とする京都大学放射線生物研究センターは、国民の健康増進と生活の質の向上を目指すひと・健康・未来研究財団と共催で放射線生物学に関する科目を開講する。

2014年度は、次の連携機関と協力して、前期に1科目、後期に1科目の合計2科目を開講する。

1) 継続科目として2科目

①②京都大学放射線生物研究センター

ひと・健康・未来研究財団

放射線の生態影響の実態を論理的に理解する科目（前期）（後期）

修了者に受講修了証を発行する。受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2013	1	4	4
2014	2		
合計	3	4	4

(2014年6月5日現在)

1 1. 東京・九段 知の市場

(1) 開講機関

早稲田リーガルcommons法律事務所

2014 年度から新規開講機関として早稲田リーガルcommons法律事務所が知の市場に参画する。

詳細は <http://legalcommons.jp/> を参照する。

(2) 開催場所

早稲田リーガルcommons法律事務所（東京メトロ九段下駅）

(3) 概要

絶えず変化する多様な法領域において、常に先端的でプロフェッショナルなリーガルサービスの提供を目指す早稲田リーガルcommons法律事務所は、医薬品の研究開発と環境法制に関する科目を開講する。

2014 年度は、次の連携機関と協力して、前期に 1 科目、後期に 1 科目の合計 2 科目を開講する。

1) 継続科目として 2 科目

①第二東京弁護士会環境法研究会

環境法制の生成・発展と公害・環境訴訟から環境法制のあり方を考える科目（前期）

②武田薬品工業

医薬品研究開発の戦略とプロセスに関する科目（後期）

修了者に受講修了証を発行する。受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2014	2		
合計	2		

(2014 年 6 月 5 日現在)

1 2. 東京・大岡山 知の市場

(1) 開講機関

知の市場

2014 年度から新規開講機関として知の市場が直轄で開講する。

詳細は <http://www.chinoichiba.org/lwwchp/>

<http://www.lwwc.ocha.ac.jp/saikyouiku/> を参照する。

(2) 開催場所

東京工業大学大岡山キャンパス（東急大井町線・目黒線 大岡山駅）

(3) 概要

知の市場は直轄で、技術革新と社会変革の基礎をなす資源とエネルギーそして規範に関する科目を開講する。

2014 年度は、次の連携機関と協力して、前期に 1 科目を開講する。

1) 新規科目として 1 科目

①社会技術革新学会石油サウジアラビア教育研究会

資源・エネルギー分野やリスク管理の分野における国際的な変動が社会に及ぼす変化に関する科目（前期）

修了者に受講修了証を発行する。受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2014	1		
合計	1		

(2014年6月5日現在)

1.3. 大阪・関西大学高槻 知の市場

(1) 開講機関

製品評価技術基盤機構

関西大学社会安全学部

関西消費者連合会

詳細は <http://www.nite.go.jp/>を参照する。

(2) 開催場所

関西大学高槻ミュージックキャンパス (JR 高槻駅)

(3) 概要

製品安全、化学物質管理、バイオテクノロジー、適合性認定の4分野で活動する製品評価技術基盤機構は、安全・安心をデザインできる社会貢献型の人材を育成することを目指す関西大学社会安全学部や関西を拠点とする消費者団体である関西消費者連合会との共催で事故原因の究明などの製品安全分野に関する科目を開講する。

2014年度は、次の連携機関と協力して、2013年度と同様に、前期に1科目を開講する。

1) 継続科目として1科目

①製品評価技術基盤機構

2011年度に製品評価技術基盤機構と関西消費者連合会の共催で開講した科目を継承して、製品事故の現状と製品安全対策について、具体的事例に基づいて分析考察しながら今後の事故防止方策や政策のあり方について論ずる科目 (前期)

この科目は、製品評価技術基盤機構、関西大学社会安全学部、関西消費者連合会の共催で大阪にて前期に開講するほか、主婦連合会、製品評価技術基盤機構、早稲田大学規範化学総合研究所の共催で後期に東京 (早稲田大学西早稲田キャンパス) にて開講する。

修了者には受講修了証を発行する。受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2005	1	12	4
2006	3	96	56
2007	3	106	58
2008	4	141	84
2009	2	70	53
2010	1	35	28
2011	1	15	8
2012	1	50	29
2013	1	33	18
2014	1		
合計	18	558	338

(注)2009年度以前は継承した科目が他の開講機関で開講した数を含む。(2014年6月5日現在)

このほか、製品評価技術基盤機構は主婦連合会と共催で1科目を東京・四ツ谷で、単独で1科目を東京・幡ヶ谷で開講する。

1 4. 東京・西早稲田（2） 知の市場

（1）開講機関

製品評価技術基盤機構

早稲田大学規範科学総合研究所

詳細は <http://www.shufuren.net/>

<http://www.nite.go.jp/> を参照する。

（2）開催場所

早稲田大学西早稲田キャンパス（東京メトロ西早稲田駅前）

（3）概要

製品安全、化学物質管理、バイオテクノロジー、適合性認定の4分野で活動する製品評価技術基盤機構は、早稲田大学規範科学総合研究所と共催で製品安全分野に関する科目を開講する。

2014年度は、次の連携機関と協力して、2013年度と同様、後期に1科目を開講する。

1) 継続科目として1科目

①製品評価技術基盤機構

製品事故の現状と製品安全対策について、具体的事例に基づいて分析考察しながら今後の事故防止方策や政策のあり方について論ずる科目（後期）

この科目は、製品評価技術基盤機構、早稲田大学規範化学総合研究所の共催で後期に東京（早稲田大学西早稲田キャンパス）にて開講するほか、製品評価技術基盤機構、関西大学社会安全学部、関西消費者連合会の共催で大阪にて前期に開講する。

修了者に受講修了証を発行する。受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2005	1	12	4
2006	3	96	56
2007	3	106	58
2008	4	141	84
2009	2	70	53
2010	1	82	57
2011	1	81	46
2012	1	54	24
2013	1	68	35
2014	1		
合計	18	710	417

(注)2009年度以前は継承した科目が他の開講機関で開講した数を含む。(2014年6月5日現在)

このほか、主婦連合会は製品評価技術基盤機構と共催で1科目を東京・四ツ谷で開講する。

1 5. 東京・四ツ谷（1）主婦連 知の市場

（1）開講機関

主婦連合会

製品評価技術基盤機構

詳細は <http://www.shufuren.net/>

<http://www.nite.go.jp/> を参照する。

（2）開催場所

主婦会館（JR、東京メトロ四ツ谷駅前）

(3) 概要

安全・安心な暮らしの実現をめざして消費者運動を先導してきた主婦連合会と製品安全、化学物質管理、バイオテクノロジー、適合性認定の4分野で活動する製品評価技術基盤機構は、共催で化学物質のリスク評価とリスク管理に関する分野の科目を開講する。

2014年度は、次の連携機関と協力して、2013年度と同様、前期に1科目を開講する。

1) 継続科目として1科目

①製品評価技術基盤機構・主婦連合会

化学物質に関するリスク評価とリスク管理の基礎知識やリスクコミュニケーションの重要性などに関する科目（前期）

修了者に受講修了証を発行する。受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2011	1	46	28
2012	1	48	26
2013	1	44	26
2014	1		
合計	4	138	80

(2014年6月5日現在)

1.6. 東京・幡ヶ谷 知の市場

(1) 開講機関

製品評価技術基盤機構

詳細は <http://www.nite.go.jp/> を参照する。

(2) 開催場所

製品評価技術基盤機構（京王線 幡ヶ谷駅）

(3) 概要

製品安全、化学物質管理、バイオテクノロジー、適合性認定の4分野で活動する製品評価技術基盤機構は、微生物資源とバイオ安全に関する科目を開講する。

2014年度は、次の連携機関と協力して、後期に1科目を開講する。

1) 継続科目として1科目

①製品評価技術基盤機構

微生物資源の活用とバイオ安全の基礎知識に関する科目（後期）

修了者に受講修了証を発行する。受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2013	1	15	6
2014	1		
合計	2	15	6

(2014年6月5日現在)

1.7. 東京・四ツ谷（2）生物研 知の市場

(1) 開講機関

農業生物資源研究所

詳細は <http://www.nias.affrc.go.jp/> を参照する。

(2) 開催場所

主婦会館（JR、東京メトロ四ツ谷駅前）

(3) 概要

農業分野における生命科学やバイオテクノロジーの研究開発を進めることにより農業技術の発達に貢献するとともにこれまでにない新たな生物産業を創出することを目的とする農業生物資源研究所は、早稲田大学規範科学総合研究所と共催で農業生物資源の利用に関する科目を開催する。

2014年度は、次の連携機関と協力して、2013年度と同様、後期に1科目を開講する。

1) 継続科目として1科目

①農業生物資源研究所

バイオテクノロジーで拓く食料、医療など農業生物資源の利用と未来に関する科目（後期）

この科目は2012年度からインターネットによる全国配信に取り組む。

修了者に受講修了証を発行する。受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2006	1	11	7
2007	1	21	16
2008	2	56	32
2009	1	52	28
2010	1	63	29
2011	1	18	5
2012	1	40	10
2013	1	31	13
2014	1		
合計	10	292	140

(注)2008年度以前は継承した科目が他の開講機関で開講した数を含む。(2014年6月5日現在)

18. 東京・八重洲 知の市場

(1) 開講機関

東洋システム

詳細は、<http://www.toyo-system.co.jp/index.html> を参照する。

(2) 開催場所

東京駅前カンファレンスセンター（JR・東京メトロ 東京駅）

(3) 概要

二次電池の試験装置を提供することで広く各メーカーの高性能二次電池の開発に携わる東洋システムは、リチウムイオン二次電池に関する科目を開講する。

2014年度は、次の連携機関と協力して、前期に1科目を開講する。

1) 継続科目として1科目

①社会技術革新学会リチウム電池教育研究会

リチウムイオン二次電池開発の歴史に見る技術革新と経営革新に関する科目（前期）

修了者に受講修了証を発行する。受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2014	1		
合計	1		

(2014年6月5日現在)

関 連 講 座

第Ⅱ期（展開期：2009～2012年度）から関連講座を新たに展開し始めたが、第Ⅱ期は毎年平均して14拠点で251名の講師の参画のもと41科目を開講して2047名の応募者が参加した。第Ⅲ期（完成期：2013～2015年度）の初年度にあたる2013年度は17拠点で356名の講師の参画のもと12ユニット、26科目の合計38科目を開講し、2013年度は1,655名の応募者が参加した。

2014年度は、21拠点で291名の講師の参画により16ユニット、29科目の合計45科目を開講する。このうち14科目が新規科目である。

2014年度は2013年度から継続して、教養編として化学工学会 SCE・Net が4科目、名古屋市立大学大学院の主催で3ユニット、大分大学教育福祉科学部が2ユニット、日本獣医師会と早稲田大学規範科学総合研究所と早稲田総研インターナショナルが1科目、専門編として名古屋市立大学 学びなおし支援センターの主催で6科目、明治大学リバティアカデミー、明治大学安全学研究所、明治大学大学院の共催で2科目、労働科学研究所の主催で1科目、研修編として東洋システムが1科目、大学・大学院編として早稲田大学が4ユニット、早稲田大学大学院先進理工学研究科共同先進健康科学専攻が2科目、お茶の水女子大学が3科目、明治大学大学院が2科目、東京工業大学大学院が1科目を開講する。

また2014年度から新規開講機関による新規科目を、教養編として筑波大学大学院が2科目、関西大学社会安全学部が1科目、知の市場が直轄で4ユニット、日本中央競馬会が1ユニット、千葉市科学館が2ユニット、大学・大学院編として筑波大学大学院が2科目を開講する。さらに、2014年度から共催講座から関連講座に移動する科目を、研修編としてアダムジャパンと狭山商工会議所と狭山市が1科目を開講する。

I. 教養編

1. 東京・茗荷谷 知の市場

(1) 開講機関

化学工学会 SCE・Net

詳細は <http://www.sce-net.jp/shakaijinkyouiku.html> を参照する。

(2) 開催場所

お茶の水女子大学(東京メトロ茗荷谷駅、護国寺駅)

(3) 概要

色々な分野で活動してきた化学技術者が長年の実務経験を通じて蓄積してきた知識と技術を次代へ伝承することを目的とする化学工学会 SCE・Net は、化学技術に関わる教養講座を共催講座として開講してきたが、社会のより幅広い人々に技術や事柄についての基礎知識を提供する目的で、分割受講を可能とするなどの改革を行い、原子力と放射線やエネルギーの供給と消費に関する科目を開講する。

2014年度は、次の連携機関と協力して、前期に1科目、後期に3科目を開講する。

1) 新規科目として3科目

①化学工学会 SCE・Net

原子力と放射能の基礎から応用までを学ぶ科目（前期）

②化学工学会 SCE・Net

環境問題の実態と先進技術の展開に関する科目（後期）

③化学工学会 SCE・Net

社会を支える化学工業とその製品群に関する科目（後期）

2) 継続科目として1科目

④NPO ブルーアース

エネルギーの供給と利用の変革に関する科目（後期）

講師は当該分野で経験を積んだ現役あるいはシニアの化学技術者が当たる。

全講義の70%以上出席した受講者には、化学工学会 SCE・Net が受講修了証を発行するが、分割受講も可能である。

受講料は1科目あたり5,000円で、分割受講の場合は3,000円である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2005	7	111	65
2006	7	90	51
2007	7	122	54
2008	3	106	45
2009	2	58	36
2010	2	53	24
2011	4	117	42
2012	6	152	85
2013	2	51	29
2014	4		
合計	44	860	431

(注) 2013年度以前は共催講座として開講してきた値も含む。

(2014年6月5日現在)

2. 愛知・名古屋市立大学（1）健康 知の市場

(1) 開講機関

名古屋市立大学健康科学講座オープンカレッジ

詳細は <http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/w3med/philanthropy/opencollege.html> を参照する。

(2) 開催場所

名古屋市立大学 川澄キャンパス（名古屋市地下鉄桜山駅前）

(3) 概要

市民の日々の生活を実りあるものにし将来の生活設計に資するために、名古屋市立大学医学部の基礎・臨床分野が蓄積している最新の研究情報を市民にわかりやすく解説し自己研鑽と再学習の場を提供することを目的とする名古屋市立大学健康科学講座オープンカレッジは、医療・健康に関する基礎的な科目を開講する。

2014年度は、次の連携機関と協力して、2013年度と同様に、3期に分けて3ユニットを開講する。

1) 継続科目として3ユニット

①名古屋市立大学大学院医学研究科

健康科学に関する3ユニット（第1、2、3期講座）

講師陣は名古屋市立大学大学院医学研究科の教員を中心に、各ユニットのコーディネーターの下で学内他研究科の教員そして外部の研究者や実務家も参加している。受講者は大学生・大学院生も含めて医療・福祉関係や教育関係など幅広い社会人を応募対象とする。90分授業8回からなるユニットを毎年開講する。金曜日（18時30分～20時）に開催する。

6回以上の出席者には修了証を発行する。受講料は1ユニットあたり8,000円である。

開催年度	ユニット数	受講者数	修了者数
2005	5	403	284
2006	6	497	390
2007	6	412	342
2008	6	371	256
2009	3	222	175
2010	3	227	173
2011	3	180	137
2012	3	218	173
2013	3	325	277
2014	3		
合計	41	2,855	2,207

(2014年6月5日現在)

3. 大分・大分大学 知の市場

(1) 開講機関

大分大学教育福祉科学部・都甲研究室

詳細は<http://www.ed.oita-u.ac.jp/001lippann/002gakkou/page03.html>
を参照する。

(2) 開催場所

大分大学(JR 豊肥本線大分大学前駅)

(3) 概要

「福祉の心と実践性」をキーワードとし、こどもを支援できる質の高い教員、時代に対応し地域の文化創造に貢献できる人材、生き甲斐をもち健やかに共に生きる社会を目指す人材の養成に取り組む大分大学教育福祉科学部で生活・技術教育を専門とする大分大学・都甲研究室は、世界の多様性に関する科目と規範科学に関する科目の2科目を開講する。

2014年度は、次の連携機関と協力して、後期に2科目を開講する。

1) 継続科目として2ユニット

①社会技術革新学会多様性基礎教育研究会

サウジアラビアとブータンにおける経験をもとに社会の多様性を語るユニット
(後期)

②化学生物総合管理学会 化学物質総合経営学基礎教育研究会

社会的規範と技術革新の関係を論じるユニット (後期)

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2013	2	24	24
2014	2		
合計	4	24	24

(2014年6月5日現在)

4. 東京・筑波大学 知の市場

(1) 開講機関

筑波大学大学院

2014年度から新規開講機関として筑波大学大学院が知の市場に参画する。

詳細はhttps://www.sciencecommunication.jp/event/course#course_list
を参照する

(2) 開催場所

筑波大学東京キャンパス文京校舎（東京メトロ茗荷谷駅）

(3) 概要

専門分野の深い知識や経験と幅広く深い学識のもと広い視野で物事を考える人間力の養成のためのカリキュラムを提供する筑波大学大学院は、サイエンスコミュニケーションならびにリスクコミュニケーションに関する科目を開講する。

2014年度は、次の連携機関と協力して、前期に1科目、後期に1科目の合計2科目を開講する。

1) 新規科目として2科目

①筑波大学大学院

サイエンスコミュニケーション協会

サイエンスコミュニケーションの活動事例およびその理論と実践的技術に関する科目（前期）

②筑波大学大学院

サイエンスコミュニケーション協会

リスクコミュニケーションの活動事例およびその理論と実践的技術に関する科目
(後期)

修了者に受講修了証を発行する。受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2014	2		
合計	2		

(2014年6月5日現在)

5. 千葉・千葉 知の市場

(1) 開講機関

千葉市科学館

2014年度から新規開講機関として千葉市科学館が知の市場に参画する。

詳細は<http://www.chibashi-science-festa.com/event2014/2014/04/post-10.html>
を参照する

(2) 開催場所

Qiball 13階 ビジネス支援センター（JR千葉駅、京成千葉中央駅）

(3) 概要

日常のくらしと科学の架け橋となり、知の活動のネットワークを充実させ多彩なメニューを展開する千葉市科学館は、サイエンスコミュニケーションに関する科目を開講する。2014年度は、次の連携機関と協力して前期に1科目、後期に1科目の合計2科目を開講する。

1) 新規科目として2ユニット

①千葉市科学館

サイエンスコミュニケーションの拡がり理論に関するユニット（前期）

②千葉市科学館

サイエンスコミュニケーションの実践に関するユニット（後期）

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2014	2		
合計	2		

(2014年6月5日現在)

6. 鹿児島・鹿児島 知の市場

(1) 開講機関

知の市場

2014年度から新規開講機関として知の市場が直轄で開講する。

詳細は<http://www.chinoichiba.org/lwwchp/>
<http://www.lwwc.ocha.ac.jp/saikyouiku/> を参照する。

(2) 開催場所

鹿児島県の経済を考える会・桜ちょうちんフェスタ実行委員会（鹿児島県鹿児島市）

(3) 概要

知の市場は直轄で、地域力、日本力に関する科目を開講する。

2014年度は、次の連携機関と協力して、前期に2科目を開講する。

1) 新規科目として2ユニット

①社会技術革新学会社会技術革新学教育研究会

日本の競争力の源泉である人間力や地域力について論じるユニット（前期）

②社会技術革新学会社会技術革新学教育研究会

世界から見た日本の競争力の源泉について論じるユニット（前期）

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2014	2		
合計	2		

(2014年6月5日現在)

7. 鹿児島・枕崎 知の市場

(1) 開講機関

知の市場

2014年度から新規開講機関として知の市場が直轄で開講する。

詳細は<http://www.chinoichiba.org/lwwchp/>
<http://www.lwwc.ocha.ac.jp/saikyouiku/> を参照する。

(2) 開催場所

鹿児島県立鹿児島水産高等学校・水産加工業協同組合（鹿児島県枕崎市）

(3) 概要

知の市場は直轄で、地域力、日本力に関する科目を開講する。

2014年度は、次の連携機関と協力して、前期に2科目を開講する。

1) 新規科目として2ユニット

①社会技術革新学会社会技術革新学教育研究会

世界の多様性から見た日本の人間力や地域力について論じるユニット（前期）

②社会技術革新学会社会技術革新学教育研究会

世界の石油エネルギー情勢と日本の水産業をはじめとする産業との係りについて論じるユニット（前期）

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2014	2		
合計	2		

(2014年6月5日現在)

8. 東京・早稲田駅 知の市場

(1) 開講機関

日本獣医師会

早稲田大学 規範科学総合研究所

早稲田総研インターナショナル

詳細は <http://www.waseda.jp/prj-iirs/> を参照する。

(2) 開催場所

早稲田総研インターナショナル (東京メトロ早稲田駅)

(3) 概要

早稲田大学で培われた知的資源の社会還元を使命とする早稲田総研インターナショナルは、早稲田大学規範科学総合研究所と共催で動物と人との関係に関する科目を開講する。2014年度は、次の連携機関と協力して後期に1科目を共催講座から移行して開講する。

1) 継続科目として1科目 (共催講座より移動)

① 日本獣医師会

獣医が解説する動物の病気と管理に関する科目 (前期)

この科目は2011年度からインターネットにより全国に配信を行っている。

受講料は1講義あたり1,000円であり、1科目受講すると12,000円、1ユニット受講すると4,000円である。なお、修了者で動物看護師統一認定機構への申請のための証明書の発行を希望する場合には1通500円で発行する。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2004	2	51	28
2005	4	114	66
2006	5	128	73
2007	5	119	67
2008	5	150	77
2009	7	227	134
2010	7	214	93
2011	7(11)	205	72
2012	5(6)	159	68
2013	1	32	32
2014	1		
合計	49	1,399	710

(2014年6月5日現在)

(注) 2012年度以前は早稲田大学規範科学総合研究所が共催講座として開講してきた値を示す。

() 内は当初予定の科目数。

9. 東京・関西大学東京センター (関西大学)

(1) 開講機関

関西大学社会安全学部

詳細は http://www.kansai-u.ac.jp/Fc_ss/ を参照する。

(2) 開催場所

関西大学東京センター (JR 東京駅、東京メトロ大手町駅)

(3) 概要

安全・安心をデザインできる社会貢献型の人材を育成することを目指す関西大学社会安全学部は、社会安全学に関する科目を開講する。

1) 新規科目として1科目

①関西大学社会安全学部

安全・安心社会と社会安全学に関する科目（前期）

受講料は1科目あたり社会人が10,000円で学生院生が3,000円である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2014	1		
合計	1		

(2014年6月5日現在)

10. 東京・日本中央競馬会 知の市場

(1) 開講機関

日本中央競馬会

2014年度から新規開講機関として日本中央競馬会が知の市場に参画する。

詳細は<http://www.jra.go.jp/>を参照する。

(2) 開催場所

浅草パークホール（つくばエクスプレス、東京メトロ浅草駅）他

(3) 概要

競馬の健全な発展を図って馬の改良増殖その他畜産の振興に寄与し、国民的レジャーを提供する日本中央競馬会は、競争馬に関する科目を開講する。

2014年度は、次の連携機関と協力して、後期に1ユニットを開講する。

1) 新規科目として1ユニット

①日本中央競馬会

馬の生物としての特性を明らかにしつつ競馬とサラブレッドを論じるユニット（後期）

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2014	1		
合計	1		

(2014年6月5日現在)

II. 専門編

11. 愛知・名古屋市立大学（2）学びなおし 知の市場

(1) 開講機関

名古屋市立大学学びなおし支援センター

詳細は<http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/w3med/manabi/>を参照する。

(2) 開催場所

名古屋：名古屋市立大学 川澄キャンパス（名古屋市地下鉄桜山駅前）

(3) 概要

医療保健分野の人材不足を補うため、職場復帰と高度医療に対応できる能力の向上を支援することを目的とする名古屋市立大学学びなおしセンターは、専門分野に応じた柔軟な選択科目から構成する自己研鑽プログラムを開講する。

2014年度は、次の連携機関と協力して、2013年度と同様に、前期に3科目、後期に3科目の合計6科目を開講する。

1) 継続科目として6科目

①名古屋市立大学学びなおし支援センター

医療保健に関する6科目（春期）（秋期）

医療と保健分野の国家資格保有者を対象としたコース制（医療専門コース、医療技能コース、健康・保健コース）での受講とスポット科目での受講があり、スポット科目での受講は一部受講制限のある実習科目を除き一般の者も受講可能である。

受講修了した国家資格保有者については、受講修了証を発行するほか、履修証明試験の成績に応じて学校教育法に基づく履修証明書を授与するとともに就職支援もおこなう。一般の受講者については受講修了証を発行する。受講料は1科目あたり5,000円である。

講座受講中は学内「さくら保育所」の一時託児サービス(1回2,000円)も利用できる。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2008	7(6科目は12月開講)	248	194
2009	18	1,008	459
2010	10	990	399
2011	6	257	182
2012	6	272	204
2013	6	261	202
2014	6		
合計	59	3,036	1,640

(2014年6月5日現在)

1 2. 東京・明治大学 知の市場

(1) 開講機関

明治大学リバティアカデミー

明治大学安全学研究所

明治大学大学院理工学研究科新領域創造専攻

詳細は <http://www.meiji.ac.jp/sst/grad/>

<http://academy.meiji.jp/ccs/index.html> を参照する。

(2) 開催場所

明治大学駿河台校舎リバティタワー（JR 御茶ノ水駅）

(3) 概要

明治大学の生涯教育の拠点である明治大学リバティアカデミーと安全学の教育・普及の拠点である明治大学安全学研究所及び次の時代を担う新しい領域とそれに挑戦する人間集団を目指す明治大学大学院理工学研究科新領域創造専攻は、共催で安全分野に関する科目を開講する。

2014年度は、次の連携機関と協力して、2013年度と同様に、前期に1科目、後期に1科目の合計2科目を開講する。

1) 継続科目として2科目

①明治大学大学院理工学研究科新領域創造専攻

明治大学 リバティアカデミー

- i) 暮らしの中の安全の検証と社会の中に安全を創るための方策について論じる科目
(前期)

ii) 製品と機械の安全及びリスクアセスメントに関する科目（後期）

120分授業16回からなる科目を前期に1科目、後期に1科目、計2科目開講する。
修了者には修了証を発行する。受講料は1科目あたり10,000円である。

開催年度	科目・ユニット数	受講者数	修了者数
2005	2ユニット	169	17*
2006	3ユニット	308	186
2007	4ユニット	100	84
2008	4ユニット	119	90
2009	4ユニット	326	199
2010	2科目	144	144
2011	2科目	122	90
2012	2科目	135	112
2013	2科目	124	80
2014	2科目		
合計	27	1,547	1,002

* : 1科目は修了証発行せず

(2014年6月5日現在)

1.3. 神奈川・川崎宮前区 知の市場

(1) 開講機関

労働科学研究所

詳細は<http://www.isl.or.jp/> を参照する。

(2) 開催場所

労働科学研究所（小田急線 向ヶ丘遊園駅又は横浜市営地下鉄あざみ野駅からバス）

(3) 概要

産業安全保健に関する研究及び調査並びに研究者の養成を目的に創立90周年を迎えた労働科学研究所は、産業安全保健のエキスパート養成などに関する科目を開講する。

2014年度は、次の連携機関と協力して、後期に1科目を開講する。

1) 継続科目として1科目

①労働科学研究所

- i) 共催講座として開講する安全、健康、職場環境の3つの中級科目の修了者を対象に産業安全保健の実践に関する最新の情報や多様な技術を習得するとともに、それらの知識や技術を統合して企業において産業安全保健活動を推進できる能力をもつ者を育成するための上級科目（後期）

また、労働科学研究所が資格認定試験を行う予定で準備をしている。

修了者には受講修了証を発行する。受講料は100,000円である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2011	2	3	2
2012	2	6	6
2013	1	6	6
2014	1		
合計	6	15	14

(2014年6月5日現在)

Ⅲ. 研修編

1 4. 埼玉・狭山元気プラザ 知の市場

(1) 開講機関

アダムジャパン
狭山商工会議所
狭山市

詳細は <http://www.sayama-cci.or.jp/> を参照する。

(2) 開催場所

狭山元気プラザ、アダムジャパン（西武新宿線 狭山市駅からバス）

(3) 概要

埼玉県において最大の出荷額を有する狭山市と狭山商工会議所は、ビリヤードの用具の生産において世界を先導するアダムジャパンと共催で、その特徴を活かして地域とともに全国に狭山市の特徴を発信するためにもものづくりに関する科目を開講する。

2014 年度は、次の連携機関と協力して、後期に 1 科目を共催講座から移行して開講する。

1) 継続科目として 1 科目

① アダムジャパン・狭山商工会議所・狭山市

ものづくりシリーズとしてビリヤードとその道具に関する科目（後期）

受講料は 1 科目あたり 15,000 円である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2014	1		
合計	1		

(2013 年 12 月 5 日現在)

1 5. 福島・いわき 知の市場

(1) 開講機関

東洋システム

詳細は、<http://www.toyo-system.co.jp/index.html> を参照する。

(2) 開催場所

東洋システム研修室（JR 常磐線 湯本駅）

(3) 概要

二次電池の試験装置を提供することで広く各メーカーの高性能二次電池の開発に携わる東洋システムは、国際競争力に関する科目を開講する。

2014 年度は、次の連携機関と協力して、通年で 1 科目を開講する。

1) 継続科目として 1 科目

① 社会技術革新学会社会技術革新学教育研究会

国際競争力において評価計測技術と規範のもつ意義を論じる科目（通年）

修了者に受講修了証を発行する。受講料は無料である。

開催年度	科目数	受講者数	修了者数
2013	1	22	22
2014	1		
合計	2	22	22

(2014 年 6 月 5 日現在)

IV. 大学・大学院編

大学や大学院での正規の単位取得対象科目として開講される科目やユニットを知之市場の関連講座として位置づける。この展開を新たに始めた第Ⅱ期（展開期：2009～2012 年度）は平均して 9 拠点で 15 科目 7 ユニットを開講した。第Ⅲ期（完成期：2013～2015 年度）の初年度にあたる 2013 年度は 8 拠点で 12 科目、4 ユニットを開講した。2014 年度は、6 拠点で 10 科目、4 ユニットを開講する。

拠点名	科目名	種別	学科・連携機関
東京・早稲田大学 理工学部 知之市場	生命科学概論 A (総合機械)	ユニット	総合機械学科
	生命科学概論 A (建築・電子光・経営・資源・社会工学)	ユニット	建築・電子光・経営・資源・ 社会工学科
	生命科学概論 A (化学・応化)	ユニット	化学・応用化学科
	生命科学概論 B (生医)	ユニット	生命医科学科
東京・早稲田大学 理工学研究科 知之市場	医薬総合管理学 (隔年、2014 年度開講せず)	科目	生命医科学専攻 武田薬品工業
東京・早稲田大学 共同先進健康学専攻 知之市場	化学物質総合管理学	科目	先進理工学研究科
	食農総合管理学	科目	
	感染症総合管理学 (隔年、2014 年度開講せず)	科目	
	生活環境総合管理学 (隔年、2014 年度開講せず)	科目	
東京・ お茶の水女子大学 学部 知之市場	リスク管理 (演習)	科目	生活世界の安全保障科目
	社会技術革新学	科目	
	規範科学	科目	
東京・明治大学 理工研究科 知之市場	安全学特論 1	科目	新領域創造専攻
	新領域創造特論 3	科目	
東京・筑波大学 大学院 知之市場	サイエンスコミュニケーション実践論	科目	大学院共通科目
	リスクコミュニケーション入門	科目	
東京・東京工業大学 理工研究科 知之市場	資源・エネルギー・安全論	科目	化学工学専攻

開講年度 開講機関	第Ⅱ期			2013			2014			合計(2009～2014)		
	開講数	受講者数	修了者数	開講数	受講者数	修了者数	開講数	受講者数	修了者数	開講数	受講者数	修了者数
早稲田大学 理工学術院 先進理工学部	5 ユニット	669	563	4 ユニット	416	367	4 ユニット			29 ユニット	3092	2618
早稲田大学 理工学術院 大学院 3 研究科	4 科目	63	46	—	—	—	—	—	—	10 科目 4 ユニット	253	184
早稲田大学 先進理工学研究科 生命医科学専攻	—	—	—	1 科目	50	43	—	—	—	1 科目	50	43
早稲田大学 先進理工学研究科 共同先進健康科学専攻	—	—	—	3 科目	62	32	2 科目			5 科目	62	32
早稲田大学大学院・ 東京農工大学大学院 共同先進健康科学専攻	3 科目	15	15	—	—	—	—	—	—	10 科目	46	46
早稲田大学大学院・ 東京女子医科大学大学院 共同先端生命医科学専攻	3 科目	7	7	—	—	—	—	—	—	10 科目	2	2
明治大学大学院理工学研究科 新領域創造専攻	3 科目	35	31	2 科目	15 (1 科目 不明)	14 (1 科目 不明)	2 科目			16 科目	154	138
お茶の水女子大学	3 科目	140	117	3 科目	54	36	3 科目			14 科目 2 ユニット	613	503
お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科	1 科目	5	5	—	—	—	—	—	—	1 科目	9	9
福山大学大学院 工学研究科	2 科目	34	14	—	—	—	—	—	—	6 科目	135	41
東京工業大学工学部 高分子工学科	1 科目	32	30	1 科目	36	36	—	—	—	5 科目	133	125
東京工業大学大学院 理工学研究科 化学工学専攻	1 科目	22	20	1 科目	24	24	1 科目			6 科目	91	81
長崎大学大学院 医歯薬学総合研究科	1 科目	5	2	—	—	—	—	—	—	1 科目	5	2
東京大学大学院教育学研究科	—	—	—	1 科目	75	不明	—	—	—	1 科目	75	
筑波大学大学院	—	—	—	—	—	—	2 科目			2 科目		
合計	27 科目	1027	850	16 科目	732	552	14 科目			123 科目	3238	2612

注：第Ⅱ期の値は2009～2012年度のうち開講された年数を基に算出した平均値を示す。

(2014年6月5日現在)